



2026年1月期 第2四半期決算説明会 補足資料

株式会社シーイーシー | 9692 |

株式会社シーイーシー 2026年1月期 第2四半期決算概要について、
ご説明させていただきます。
代表取締役社長の姫野でございます。よろしくお願いいたします。

Agenda

目次

1 2026年1月期 第2四半期経営成績

2 2026年1月期 通期業績見通し

3 Appendix

(説明省略)

2026年1月期 第2四半期 決算ハイライト

2026年1月期 第2四半期業績概要

- 売上高は前年同期比で+11.9%と伸長となり過去最高、営業利益は+6.2%
- 受注高は+47.6%、受注残高は+63.6%伸長となり過去最高

2026年1月期業績見通し

- ネットワーク機器を含む官公庁向け大型案件の受注に伴い、通期業績予想を上方修正
- 成長投資は計画通りに執行予定

株主還元

- 6月12日に、20億円を上限とした自己株式の取得終了
- 中間配当金は前期比で5円増配の30円

まずは、決算ハイライトです。

業績概要としまして、

売上高は前年同期比で11.9%、営業利益は6.2%の伸長でございます。
受注高は前年同期比47.6%、受注残高は63.6%の伸長となりました。

通期業績見通しですが、

ネットワーク機器を含む官公庁向けの大型案件の受注に伴いまして、
通期業績予想を上方修正させていただきました。
成長投資は計画通りに執行予定でございます。

株主還元につきましては、

6月12日に、20億円を上限とした自社株式の取得を終了しております。
今期中に消却の予定でございます。
中間配当は、前期比で5円増配の30円でございます。

2026年1月期 第2四半期 経営成績

経営成績にまいります。

(単位：百万円)

	2025年1月期/2Q	2026年1月期/2Q	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	27,570	 30,843	+3,273	+11.9%
売上総利益/同率	7,438/27.0%	 8,130/26.4%	+691	+9.3%
営業利益/同率	3,250/11.8%	3,451/11.2%	+200	+6.2%
経常利益/同率	3,268/11.9%	3,516/11.4%	+247	+7.6%
親会社株主に帰属する 中間純利益/同率	2,213/8.0%	2,384/7.7%	+170	+7.7%
受注高	29,038	 42,861	+13,823	+47.6%
受注残高	17,222	 28,181	+10,958	+63.6%

 : 過去最高

© Computer Engineering & Consulting Ltd. All rights reserved. 4

連結の業績です。

売上高は308億43百万円、前年同期比で+32億73百万円
 営業利益は34億51百万円、同じく+2億円
 中間純利益は、23億84百万円、前年同期比で+1億70百万円で着地しております。
 各事業においては好調・不調ございましたが、
 DX需要は依然活況であり、堅調に推移しております。

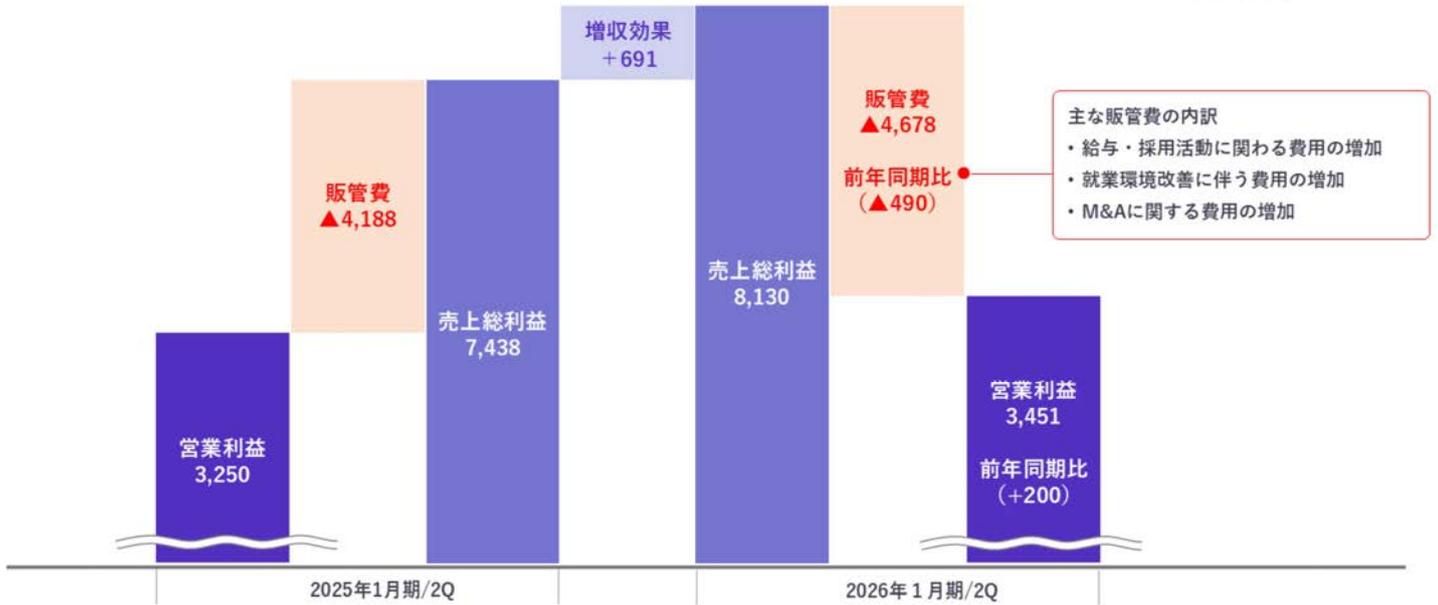
受注高は428億61百万円、前年から138億23百万円の増
 受注残高は281億81百万円、前年から109億58百万円の増です。
 決算ハイライトでもご説明させていただきましたが、
 官公庁向けの大型ネットワーク案件の獲得が大きく寄与しております。

営業利益の主な増減要因

2026年1月期 第2四半期 経営成績

- 売上総利益は過去最高を更新、販管費は主に人件費増により増加

(単位：百万円)



© Computer Engineering & Consulting Ltd. All rights reserved.

5

営業利益の主な増減要因でございます。

成長投資を含めまして、販管費は前年から4.9億円ほど増えましたが、増収効果により、営業利益は前年同期比+2億円

成長投資につきましては下期へのスライド分もございしますが、

前年から3.5億円増加しております。

主な内容としましては、給与水準の向上、そして採用活動の強化費用でございます。

事業セグメント別業績

2026年1月期 第2四半期 経営成績

(単位：百万円)

	2025年1月期/2Q		2026年1月期/2Q		増減額	
	売上高	セグメント利益 /率	売上高	セグメント利益 /率	売上高 (増減率)	セグメント利益 (増減率)
インテグレーション	17,648	3,723 21.1%	19,675	4,167 21.2%	+2,026 (+11.5%)	+444 (+11.9%)
コネクティッド	5,622	941 16.8%	5,945	1,167 19.6%	+323 (+5.7%)	+225 (+23.9%)
ソリューション	4,299	855 19.9%	5,223	901 17.3%	+923 (+21.5%)	+45 (+5.3%)
全社費用*	—	▲2,270	—	▲2,784	—	▲514
合計	27,570	3,250 11.8%	30,843	3,451 11.2%	+3,273 (+11.9%)	+200 (+6.2%)

*全社費用とは、全社販管費から主に営業活動に係る費用を差し引いたもの

© Computer Engineering & Consulting Ltd. All rights reserved. 6

事業セグメント別の業績に移ります。

3つのセグメントとも売上・営業利益は増収増益となりました。

[インテグレーションセグメント]

官公庁向けの大型案件、そして自動車を中心としたお客様のICT投資需要を取り込み、売上高で約20億円プラスの196億75百万円、営業利益で約4億4千万円プラスの41億67百万円となり、2桁伸長で着地いたしました。

[コネクティッドセグメント]

主要なおお客様の投資抑制やグループ会社の減収と、事業環境としましては山谷ございましたが、売上高で約3億2千万円プラスの59億45百万円、営業利益は利益率の高い注力事業の伸長によって、約2億2千万円プラスの11億67百万円となり、増収増益で着地しております。

[ソリューションセグメント]

注力事業であるセキュリティサービス事業が牽引しまして、売上高で約9億2千万円プラスの52億23百万円、営業利益はデータセンター事業の経費や前年の反動もありまして、約45百万円プラスの9億1百万円、増収増益で着地しております。

全社費用は、主に間接部門の費用となりますが、増加要因としては、人件費や採用関連費の増加で5億14百万円の費用増となりました。

売上高 (百万円)



+ : 増加 ± : 横ばい - : 減少

売上高

前年同期比 + 2,026 百万円 + 11.5 %

- [注力] **マイグレーションサービス事業**は商談の長期化により伸び悩み
 (+) マイクロソフトサービス事業はPower Platform需要が底堅く案件増加
 (+) システム・インフラ構築事業のシステム開発は自動車産業向け基幹システム開発が好調
 インフラ構築は官公庁向け大型案件を獲得

セグメント利益/同率 (百万円/%)



セグメント利益

前年同期比 + 444 百万円 + 11.9 %

- (+) 増収に伴う増益
 (±) システム開発で採算性を高め、利益率は前期並みを維持

© Computer Engineering & Consulting Ltd. All rights reserved. 7

インテグレーションセグメントの事業別の状況です。

[注力：マイグレーションサービス事業]

少し苦戦しております。

商談の大型化、そして高額化により、最終的に延伸となるケースも少なくないため、前年同期比で横ばいでございます。

[マイクロソフトサービス事業]

ローコード開発のPower Platform需要が底堅く、前年同期比で増収増益です。

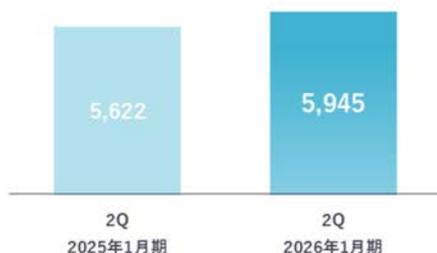
[システム・インフラ構築事業]

システム開発は自動車向けの基幹システム開発が好調であり、

インフラ構築は官公庁向けの大型ネットワーク案件を獲得したことで増収増益です。

売上高 (百万円)

+ : 増加 ± : 横ばい - : 減少



売上高

前年同期比 + **323** 百万円 + **5.7** %

[注力]

- (+) データマネタイゼーション事業はビッグデータ分析基盤構築が牽引し2桁伸長
- (±) クラウドサービス開発事業はAIを活用した開発案件が増加も横ばい
- (+) 制御シミュレーション事業は組立製造業向けは微増も、自動車産業向けIoTシステムおよび組み込み開発が増加
- (+) 品質マネジメント事業は車載検証サービスが伸長も微増

セグメント利益/同率 (百万円/%)



セグメント利益

前年同期比 + **225** 百万円 + **23.9** %

- (+) 生産性向上により、自動車産業向けの利益率向上
- (+) 利益率の高いデータマネタイゼーション事業の伸長

© Computer Engineering & Consulting Ltd. All rights reserved. 8

コネクティッドセグメントの事業別の状況です。

[注力：データマネタイゼーション事業]

ビッグデータ分析基盤の構築が牽引しまして、増収増益です。
これはセグメント全体の利益伸長にも貢献しております。

[クラウドサービス開発事業]

AIを活用した開発案件が増加傾向にありますが、前年同期比では横ばいです。

[制御シミュレーション事業]

工作機械メーカー向けの制御開発は苦戦していますが、
自動車向けのIoTシステム、そして組み込み開発は堅調に推移しまして増収増益です。

[品質マネジメント事業]

車載機器の検証サービスは伸長しておりますが、
旧来のIT機器検証サービスは横ばいでございます。
全体で微増の着地となっております。

売上高 (百万円)

+ : 増加 ± : 横ばい - : 減少



売上高

前年同期比 + **923** 百万円 + **21.5** %

- [注力]**
 (+) **セキュリティサービス事業**は官民向けともにセキュリティ監視サービス (CEC SOC) および自社製品 (SmartSESAME) が伸長
 (±) データセンター事業は移転に伴う一部の契約終了が影響して前期並み
 (+) 業界特化型ソリューションは物流系・医療系が伸長

セグメント利益/同率 (百万円/%)



セグメント利益

前年同期比 + **45** 百万円 + **5.3** %

- (+) 増収に伴う増益
 (-) データセンター再編にともなう費用影響

ソリューションセグメントの事業別の状況です。

[注力：セキュリティサービス事業]

官民向けにセキュリティ監視サービス「CEC SOC」、そして自社のセキュリティ商材が堅調に推移しまして、増収増益です。一部収益性の低い案件の実施で、利益率はセグメント全体で一時的に悪化していますがこれは今期に限ったことですので、特に心配しておりません。

[データセンター事業]

移設に伴う一部お客様の契約終了や再編に向けた費用増で横ばいでございます。

[業界特化型ソリューション]

物流、医療系が伸長しまして増収増益で着地しております。

注力事業別売上進捗状況

2026年1月期 第2四半期 経営成績

注力事業		2026年1月期/2Q 実績	2026年1月期/通期 目標値	進捗率	2025年1月期/2Q 実績	前年同期比
インテグレーション	マイグレーションサービス	1,934百万円	4,500百万円	43.0%	1,922百万円	+0.6%
コネクティッド	データマネタイゼーション	1,507百万円	3,100百万円	48.6%	1,326百万円	+13.7%
ソリューション	セキュリティサービス	3,012百万円	5,500百万円	54.8%	2,275百万円	+32.4%
全社推進	クラウドサービス	8,734百万円	17,780百万円	49.1%	7,832百万円	+11.5%

© Computer Engineering & Consulting Ltd. All rights reserved. 10

注力事業の状況にまいります。

[マイグレーションサービス]

ホスト、そしてオフコン商談が増加傾向にありますが、商談の大型化・高額化により長期化・延伸が続き、苦戦しております。ただ、通期の目標値は変更しておりません。

[データマネタイゼーション]

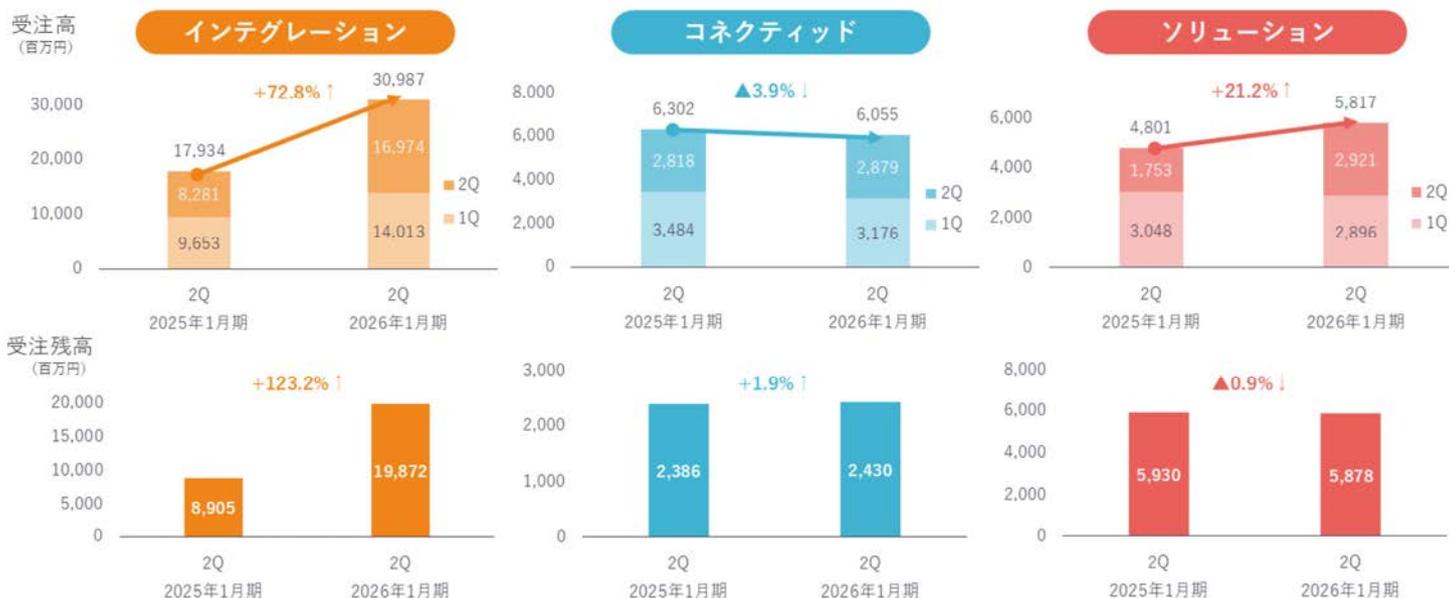
生成AIをはじめとするAIを活用しましたデータ分析の需要が拡大しまして、ビッグデータ分析基盤構築が好調でございます。前年同期比で2桁の伸長でございます。

[セキュリティサービス]

セキュリティ需要は依然活況となっております、自社商材の二要素認証である「SmartSESAME」、そして監視サービスの「CEC SOC」を中心に前年から2桁伸長でございます。

全社で推進しておりますクラウドサービスへのシフトですが、既存のお客様の基幹や業務システムのクラウド化、そしてクラウドアプリ開発を中心に2桁伸長しております。また、自社商材のSaaS化に向けた投資開発も計画通りに推進しております。

－ インテグレーションセグメントで、官公庁向け大型案件獲得



© Computer Engineering & Consulting Ltd. All rights reserved. 11

セグメント別の受注高・受注残高の状況です。

〔インテグレーションセグメント〕

官公庁向けの大型ネットワーク案件の獲得により受注高・受注残高は大幅に増加しております。

〔コネクティッドセグメント〕

受注高は第1四半期の決算補足資料で開示いたしましたが、前期第1四半期でのグループ会社再編による会計処理の影響により減少しております。ただ、第2四半期からは復調傾向にございます。

〔ソリューションセグメント〕

セキュリティサービス事業で2桁伸長いたしました。が、期内受注、そして期内売上計上が重なりまして、受注残高は微減しております。ただ、受注残高は依然として高水準を維持しております。

- 官公庁向け大型案件は、2期（2026年1月期、2027年1月期）にわたり売上計上（予定）

売上計上時期／額（概算）

（単位：百万円）



※ 2026年1月期 第1四半期に受注した3,000百万円を含む

© Computer Engineering & Consulting Ltd. All rights reserved. 12

参考情報です。

前ページのインテグレーションセグメントで説明いたしました、官公庁向け大型ネットワーク案件の売上計上時期と概算での金額となります。第2四半期までに約110億円を受注いたしましたが、今期、そして来期の2期にわたって、工事進行基準にのっとりまして、役務、そしてネットワーク機器の売上を計上する予定であります。尚、進行度合いや追加要件で計上時期や金額が変更となる可能性もございます。ご了承ください。

業種別売上高

2026年1月期 第2四半期 経営成績

(単位：百万円)

	2025年1月期/2Q*	2026年1月期/2Q	前年同期比		業種別のポイント
			増減額	増減率	
製造業 (構成比)	11,116 (40.3%)	11,467 (37.2%)	+350	+3.2%	【製造】 組立製造業向けは軟調も 自動車産業向けは堅調
通信・情サビ業 (構成比)	5,717 (20.7%)	6,062 (19.7%)	+344	+6.0%	【通信・情サビ】 アプリ開発・保守運用案件が堅調
金融業 (構成比)	2,911 (10.6%)	2,951 (9.6%)	+39	+1.3%	【金融】 Power Platform案件が増加
流通業 (構成比)	1,805 (6.5%)	1,837 (6.0%)	+31	+1.8%	【流通】 ヘルスケア案件が増加
官公庁 (構成比)	2,468 (9.0%)	5,135 (16.6%)	+2,667	+108.1%	【官公庁】 大型案件を獲得
その他 (構成比)	3,550 (12.9%)	3,390 (10.9%)	▲159	▲4.5%	
合計	27,570 (100%)	30,843 (100%)	+3,273	+11.9%	

※顧客業種精査により変更

© Computer Engineering & Consulting Ltd. All rights reserved. 13

業種別の売上高です。

[その他] 以外は、いずれの業種も前年同期比プラスで着地いたしました。

[製造業]

工作機械メーカーは軟調でございますが、
自動車メーカーを中心に既存のお客様のIT投資は堅調に推移しております。

[通信・情報サービス業]

アプリケーション開発、そして保守運用の案件が増加しております。

[官公庁]

先ほどの大型ネットワーク案件にて倍増しております。

(単位：百万円)

	2025年 1月末	2025年 7月末	増減額	増減率	ポイント
流動資産	39,114	39,028	▲85	▲0.2%	【資産】増加 のれんの増加 現預金の増加
うち現金及び預金	25,472	25,972	+500	+2.0%	
固定資産	13,521	14,317	+795	+5.9%	【負債】増加 買掛金の増加
総資産	52,636	53,346	+710	+1.3%	
流動負債	10,389	11,493	+1,103	+10.6%	【自己資本】減少 自己株式の取得による減少
固定負債	1,844	1,986	+141	+7.7%	
自己資本	40,365	39,844	▲521	▲1.3%	
自己資本比率	76.7%	74.7%	—	▲2.0pt	

貸借対照表の状況でございます。

[資産]

売掛金及び契約資産は減少していますが、
のれん、現預金の増加により総資産は約7億円増加しております。

[負債]

買掛金の増加によるものです。

[自己資本]

自己株式の取得により減少しております。

この結果、自己資本比率は2.0ptマイナスの74.7%でございます。

2026年1月期 通期業績見通し

通期の業績見通しにまいります。

- 官公庁向け大型案件の受注に伴い、通期業績予想を上方修正

(単位：百万円)

	修正前	修正後	増減額	増減率	前年同期比		
					2025年1月期	増減額	増減率
売上高	60,500	62,000	+1,500	+2.5%	56,208	+5,792	+10.3%
営業利益 /同率	6,780 /11.2%	6,900 /11.1%	+120	+1.8%	6,696 /11.9%	+204	+3.0%
経常利益 /同率	6,820 /11.3%	6,960 /11.2%	+140	+2.1%	6,807 /12.1%	+153	+2.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益 /同率	4,900 /8.0%	5,000 /8.1%	+100	+2.0%	4,040 /7.2%	+960	+23.7%

© Computer Engineering & Consulting Ltd. All rights reserved. 16

通期業績予想を上方修正させていただきました。

 売上高は620億円、期初予想より15億円のプラス
 営業利益は69億円、同じく1.2億円のプラス
 当期純利益は50億円、同じく1億円のプラス

売上高は上期の計画値から上振れた分の15億円を織り込みました。
 利益面におきましては、大型ネットワーク案件のリスク分や、
 設備投資の上期から下期へのスライド分等を総合的に勘案しまして、
 上方修正させていただきました。

注力事業	2026年1月期 通期目標値	市場動向	今後の施策
インテグレーション マイグレーションサービス	4,500百万円	DX推進やクラウド化への 対応等の需要継続	<ul style="list-style-type: none"> 顧客ごとのDX課題に対応した個別提案力の強化 サポート終了を迎えるオフコン製品等に関する アライアンス連携の強化を通じて、マイグレーション領域の拡大を推進
コネクティッド データマネタイゼーション	3,100百万円	生成AIやAI活用等の データ分析需要が拡大傾向	<ul style="list-style-type: none"> 制御技術の強みを活かし、AI、クラウド分野との融合により更なる提案領域の拡大を推進
ソリューション セキュリティサービス	5,500百万円	サイバーセキュリティ対策 需要が高水準で推移	<ul style="list-style-type: none"> 次期自治体情報セキュリティクラウド・強靱化 の新ガイドラインを見据えた提案活動を強化
全社推進 クラウドサービス	17,780百万円	生成AIの普及とDX加速により クラウド需要が拡大	<ul style="list-style-type: none"> 製造業でのAIニーズが高く、クラウドやAIのDX 人材育成を強化

注力事業の見通しにまいります。

3つの注力事業いずれも通期の目標値に変更はございません。

[マイグレーションサービス]

DXやクラウド化で需要は十分でございますので、個別の提案力やアライアンスの強化にて、下期に巻き返してまいります。

[データマネタイゼーション]

得意とする制御技術の強みを活かしまして、AIやクラウド分野との融合で推進してまいります。

[セキュリティサービス]

自治体、教育委員会の今後の新たなガイドラインに沿った提案活動で推進してまいります。

[全社推進 クラウドサービス]

商談は増加傾向にございますが、クラウドやAIの人材が不足しております。先端技術人材の育成、そして獲得も併せて推進してまいります。

－ 成長投資は一部計画を下期に変更



最後に成長投資の状況です。

[人材投資]

上期は給与水準の向上、そして採用活動の強化費にて、8.8億円を執行いたしました。

[研究開発投資]

上期は自社のセキュリティ、そしてクラウド基盤の開発にて、1.9億の投資をいたしました。

[M&A投資]

上期は4月にグループインしました情報システムサービス株式会社の株式譲渡を含みまして、7.7億円の執行でございます。

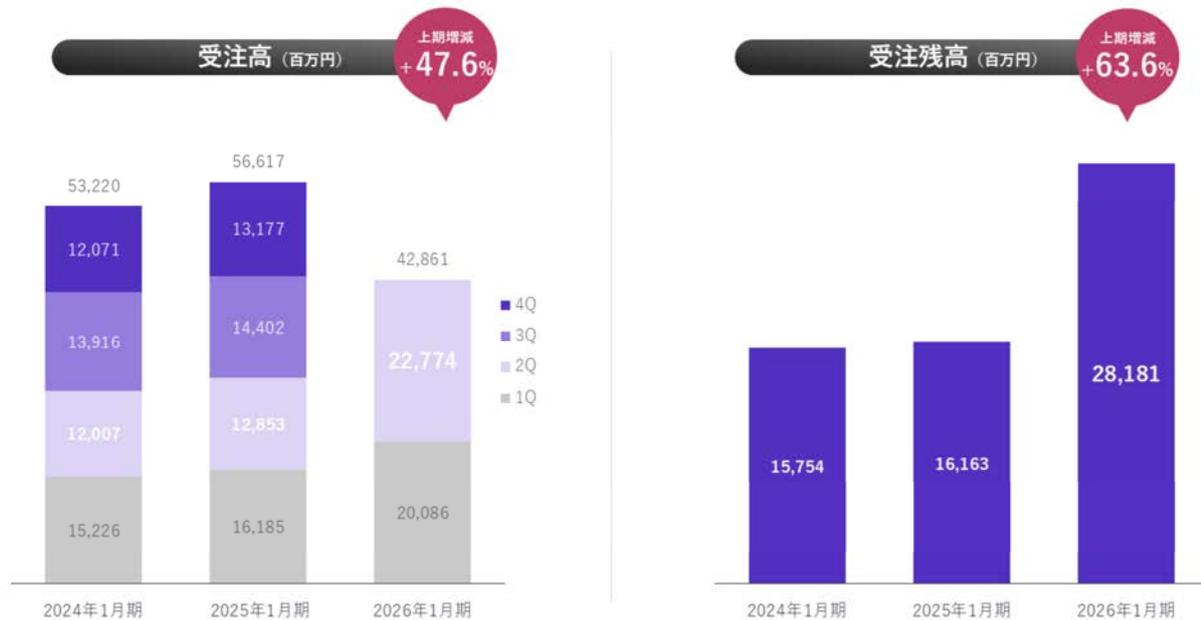
今期は人材・研究開発・M&Aで45億円を計画しておりますが、下期に傾倒しておりますので予定通り45億円以上を執行するように進めてまいります。

これにて、2026年1月期 第2四半期の決算概要の説明を終了させていただきます。ご清聴ありがとうございました。

Appendix

(説明省略)

四半期受注高・受注残高推移

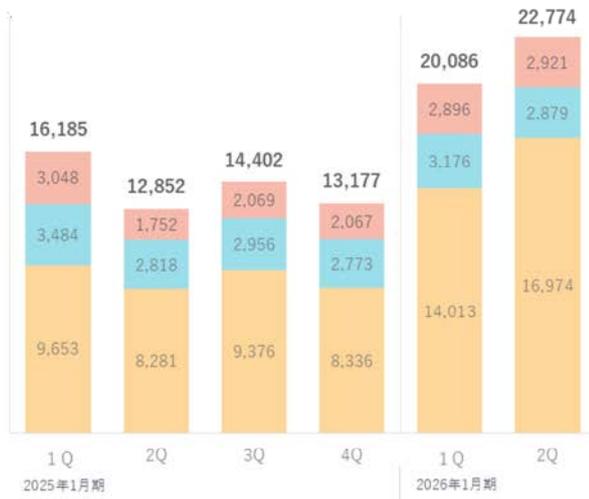


© Computer Engineering & Consulting Ltd. All rights reserved. 20

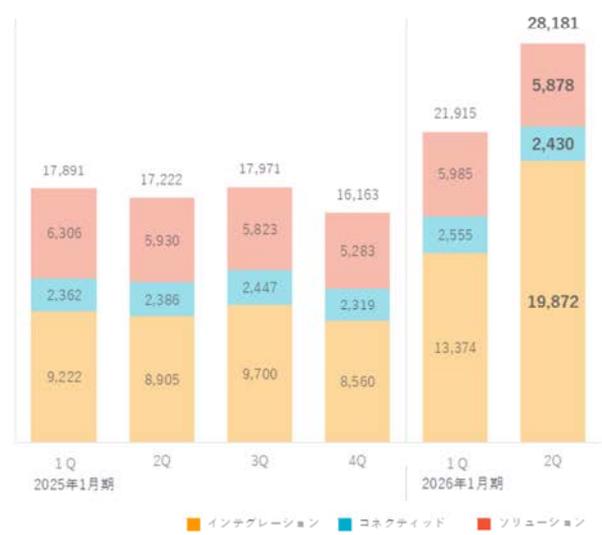
(説明省略)

四半期受注高・受注残高推移（セグメント別）

受注高（百万円）



受注残高（百万円）



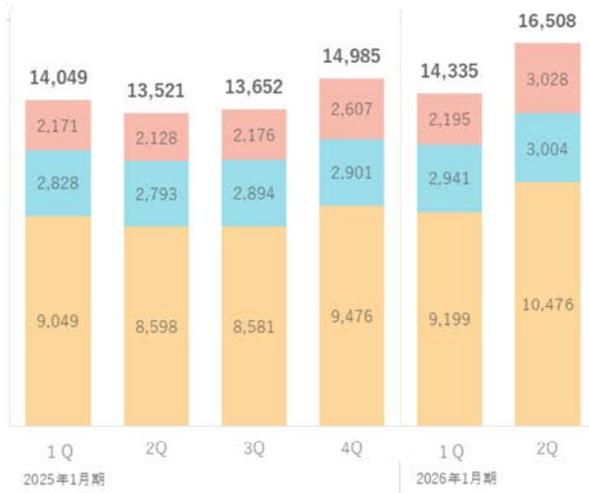
■ インテグレーション ■ コネクティッド ■ ソリューション

(説明省略)

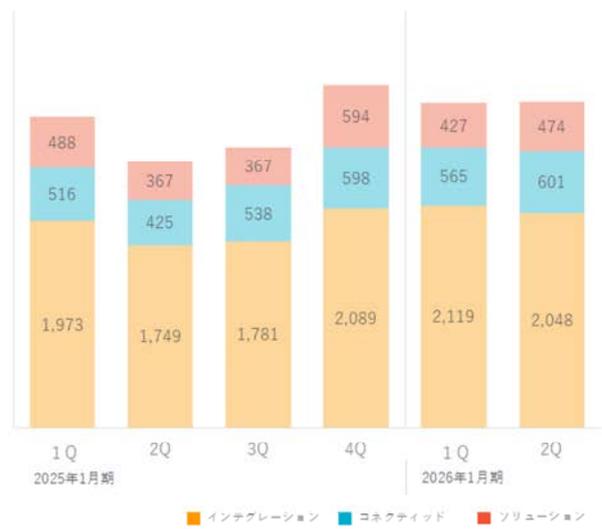


(説明省略)

売上高 (百万円)



セグメント利益 (百万円)



■ インテグレーション ■ コネクティッド ■ ソリューション

(説明省略)

業種別売上高の推移

Appendix

(単位：百万円)

	2025年1月期/1Q	2025年1月期/2Q	2025年1月期/3Q	2025年1月期/4Q	2026年1月期/1Q	2026年1月期/2Q
製造業 (構成比)	5,545 (39.5%)	5,570 (41.2%)	5,606 (41.1%)	5,814 (38.8%)	5,717 (39.9%)	5,749 (34.8%)
通信・情報業 (構成比)	2,874 (20.5%)	2,843 (21.0%)	2,856 (20.9%)	2,949 (19.7%)	2,858 (19.9%)	3,203 (19.4%)
金融業 (構成比)	1,473 (10.5%)	1,438 (10.6%)	1,433 (10.5%)	1,530 (10.2%)	1,485 (10.4%)	1,465 (8.9%)
流通業 (構成比)	904 (6.4%)	901 (6.7%)	861 (6.3%)	982 (6.6%)	978 (6.8%)	859 (5.2%)
官公庁 (構成比)	1,197 (8.5%)	1,270 (9.4%)	1,434 (10.5%)	1,923 (12.8%)	1,576 (11.0%)	3,558 (21.6%)
その他 (構成比)	2,054 (14.6%)	1,495 (11.1%)	1,459 (10.7%)	1,784 (11.9%)	1,717 (12.0%)	1,672 (10.1%)
合計	14,049 (100%)	13,521 (100%)	13,652 (100%)	14,985 (100%)	14,335 (100%)	16,508 (100%)

© Computer Engineering & Consulting Ltd. All rights reserved. 24

(説明省略)

中期経営計画 データセンター事業再編状況

業績展望

- 今期は移設に伴う新規営業停止の影響や一部顧客における契約終了があるものの、期末に向けて新規データセンターでの売上が緩やかに伸長することを見込む。通期では、前期比増を計画
- 来期、移設ピークに伴い新規契約が緩やかな想定も、業績は計画通り維持の見込み
- 再編の投資による事業成長は2028年1月期からの見通し

投資展望

- 今期の各データセンター設備に関しては、資材高騰により一部工程の来期延伸を検討
- 来期下期より移設が本格化。外的要因による費用増の懸念は残るものの、移設計画の大幅な変更なし
- 中期経営計画期間内の拠点再編の実行計画に変更なし

移設・拡充スケジュール

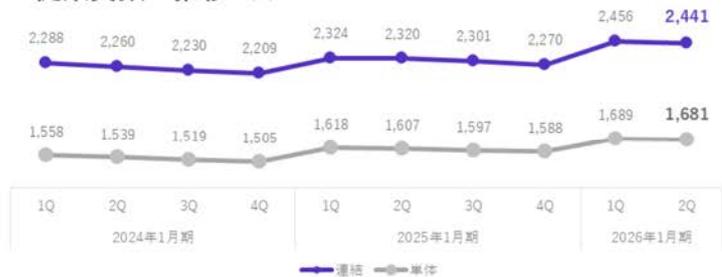


© Computer Engineering & Consulting Ltd. All rights reserved. 25

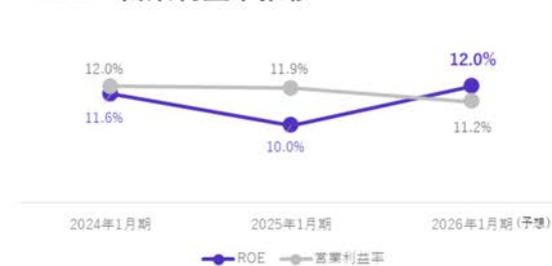
(説明省略)

その他の指標

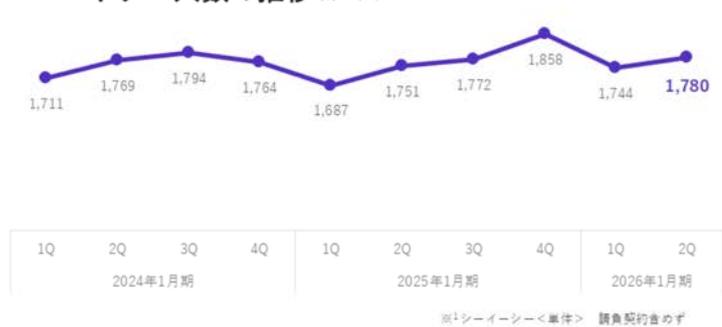
－ 従業員数の推移 (名)



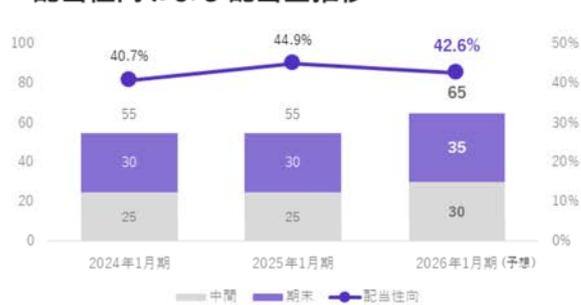
－ ROE・営業利益率推移



－ パートナー人数の推移 ※1 (名)



－ 配当性向および配当金推移



(説明省略)

情報システムの企画・コンサルティング・アプリケーション開発を活用し、顧客業務のICT全般をトータル提供

	事業概要	強み
注力事業 マイグレーションサービス事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業のDX実現のための、インフラストラクチャー（メインフレーム/オフコン/仮想化基盤）およびアプリケーションのマイグレーション・モダナイゼーションに関するサービス提供 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ インフラからアプリケーションまで対応可能 ✓ レガシー（メインフレームやオフコン）からオープンレガシーまで対応可能 ✓ マルチアーキテクチャ、マルチベンダー、マルチプラットフォームの対応が可能 ✓ 豊富なノウハウ×自動化ツール×専門技術者 ✓ コンサルティング、開発、保守/運用までトータルサポート
マイクロソフトサービス事業	<ul style="list-style-type: none"> ● マイクロソフトクラウドサービス（Dynamics 365、Microsoft 365、Power Platform、Azure等）の導入コンサル・システム開発・保守運用業務 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 基本機能を強化する豊富な独自テンプレート ✓ 他クラウドサービスとの連携もサポート ✓ 導入相談から運用支援、定着支援までトータルサポート ✓ 蓄積されたノウハウ・高い技術力・豊富な実績
システム・インフラ構築事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 官公庁、自治体向け、銀行・保険・証券など金融分野向けシステム開発・保守運用業務 ● ICT インフラおよびクラウドサービスの企画検討から、設計・構築・移行・運用までライフサイクルマネジメント全般に関する業務 ● クラウドサービスを活用したコンサルティング・インテグレーションの提供 ● 自動車産業を対象とする技術情報部門、企業情報部門や人事・生産物流向けのICTサービス全般を提供 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 創業期からの直接取引による信頼関係 ✓ 官公庁、自治体向けの開発実績 ✓ 豊富な業務経験からくるレガシーシステムの知見 ✓ ICTインフラの設計・構築・移行・運用までワンストップ対応力 ✓ 大手自動車メーカーとの繋がりや業務ノウハウ
グループ会社	<ul style="list-style-type: none"> ● ニアショア開発・構築・保守運用業務 ● 人材派遣サービス 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 大手企業との繋がりや業務ノウハウ

(説明省略)

クラウドと連携する IoT システムの開発や、データの分析や利活用を支援する製品・サービスの提供

	事業概要	強み
注力事業 データマネタイゼーション事業	<ul style="list-style-type: none"> ビッグデータ分析の企画、収集、基盤構築、分析に関する業務 ビッグデータ収集基盤、利活用に関する ICT 製品/サービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ペタバイト級の大量データの分析基盤構築技術を保有 工場 IoT 向けの独自のデータ収集基盤製品を保有 モビリティや製造現場の専門知識を持つエンジニアが多数在籍
クラウドサービス開発事業	<ul style="list-style-type: none"> クラウドサービス、スマホアプリを対象としたソフトウェア開発・運用に関する業務 DevOps を支援する ICT 製品/サービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> AWS Well-Architected パートナーとして、クラウドや AI など専門知識を持つエンジニアが多数在籍 クラウドの運用保守までワンストップで対応可能 DevOps や自動テストを支援する商品ラインアップが豊富
制御シミュレーション事業	<ul style="list-style-type: none"> エッジデバイスを対象とした組み込みソフトウェア開発に関する業務 シミュレーションやデジタルツインに関する業務や ICT 製品/サービスの提供 工場 IoT 向けの ICT 製品/サービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> 車両制御や工作機械の専門知識を持つエンジニアが多数在籍 工場 IoT を支援する商品ラインアップが豊富
品質マネジメント事業	<ul style="list-style-type: none"> IoT システム全体のソフトウェア品質に関する業務 	<ul style="list-style-type: none"> 品質検証技術の専門知識を持つエンジニアが多数在籍 デバイス、クラウドだけでなく IoT システム全域に関する品質マネジメントができる
グループ会社	<ul style="list-style-type: none"> 情報システムに関する構築、導入、保守、運用、ならびにパッケージ販売 	<ul style="list-style-type: none"> 大手企業との繋がりや業務ノウハウ

(説明省略)

高度なセキュリティ技術と堅牢なデータセンターサービスを活用し、公共、文教、物流、医療、ヘルスケアなど多様な分野に対応したソリューションを提供

	事業概要	強み
注力事業 セキュリティ サービス事業	<ul style="list-style-type: none"> サービス系(Cyber NEXT)：コンサルティング、診断、インテグレーション、監視・運用業務などのセキュリティソリューションを総合的に提供 製品系(SmartSESAME)：認証技術を基盤としたオフィスセキュリティに関する製品開発・販売、ソリューションサービス、システム開発・保守・運用業務 	<ul style="list-style-type: none"> サービス系：マルチベンダー対応、対応領域・範囲の広さ 製品系：マルチメーカー対応、全国の販売チャネル保有自治体導入1,000団体以上の実績
データセンター事業	<ul style="list-style-type: none"> クラウドサービス、データセンターサービス、ネットワークサービスのサービス企画・開発・運営 システム運用設計、導入支援、運用管理サービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> 24時間365日有人による監視・運用 メガクラウドと低遅延・高速接続によるマルチクラウド データの国内保管によるデータ主権の確保 100%グリーン電力採用
業界特化型 ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> 物流・製造・公共(自治体含む) 領域の業務改善に向けた商品の企画・開発・保守・運用業務・製品サービスの提供 医療機器・ヘルスケア分野向けにクラウド技術を活用した商品の企画・開発・保守・導入・運用・製品サービス提供 	<ul style="list-style-type: none"> 顧客ニーズ(運用) に適した物流サービスの提供 空港、製造工場などの特殊案件に対する導入実績 業界に特化した知見やノウハウを活用したサービス群

(説明省略)

「TREND MICRO Partner Award」 8年連続受賞

トレンドマイクロ株式会社の

「TREND MICRO Partner Award」を8年連続受賞

「Managed Security Partner Award」を5年連続受賞

当社トータルセキュリティソリューションブランド「Cyber NEXT（サイバーネクスト）」にてトレンドマイクロのサイバーセキュリティプラットフォーム「Trend Vision One」を活用した、「シーイーシー マネージドセキュリティサービス」を提供。お客様への製品導入から運用提案などを行ったことが評価され受賞



(説明省略)

AWSの「AI Practitioner of the Year」を受賞

アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社（AWS）の「AI Practitioner of the Year」をAWSパートナーとして初めて受賞
AI/ML、生成AIの概念とユースケースに関連する需要の高いスキルを証明する資格「AWS Certified AI Practitioner」の取得数が最も多い企業として受賞

**クラウド統合基盤「BizAxis」提供開始**

当社データセンター上に構築するクラウド統合基盤「BizAxis（ビズアキス）」を2025年3月3日（月）に提供開始
クラウド上で日本の法律に基づいたデータ管理が可能、個人情報保護法への対応やデータ漏えいリスクを軽減できることが特徴



（説明省略）

<p>名称 株式会社シーイーシー Computer Engineering & Consulting Ltd.</p> <p>設立年月日 1968年2月24日</p> <p>上場取引所 2022年4月（プライム市場） 2001年7月（東証一部）</p> <p>資本金 65億8千6百万円</p> <p>売上高 562億8百万円（2025年1月期）</p> <p>各種許認可</p> <ul style="list-style-type: none"> ■経済産業省システム監査企業台帳登録企業 ■経済産業省情報セキュリティサービス台帳登録企業 ■プライバシーマーク認定事業者11820032（14） ■JQA認定 <ul style="list-style-type: none"> ・品質マネジメントシステム ISO9001:2015（登録証番号JQA-1481） ・情報セキュリティマネジメントシステム ISO/IEC27001（登録証番号JQA-IM0007） ・クラウドサービス情報セキュリティマネジメントシステム ISO/IEC27017（登録証番号JQA-IC0040） ・ITサービスマネジメントシステム ISO/IEC20000（登録証番号JQA-IT0005） ・環境マネジメントシステム ISO14001:2015（登録証番号JQA-EM7701） ■電気通信工事業 国土交通大臣（般-4）第28700号 （許可年月日：2022年11月21日） 	<p>従業員数 2,441名（2025年7月31日現在）</p> <p>連結子会社 8社</p> <p>本社事務所 〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1-5-5 JR恵比寿ビル</p> <p>代表者 代表取締役社長 姫野 貴</p> <p>事業内容</p> <p>■インテグレーションセグメント 従来のシステム開発を中心に、情報システムの企画からインフラ設計・構築、運用まで、ICT全般をワンストップで提供</p> <p>■コネクティッドセグメント モビリティ分野やスマートファクトリー分野でのシステム開発や、デジタルデータを分析・活用したサービスを提供</p> <p>■ソリューションセグメント セキュリティ技術とデータセンターを活用し、多様な分野への自社の製品・サービスを提供</p>
---	---



(説明省略)

免責事項

- ◆本資料は、投資を勧誘することを目的として作成されたものではありません。
- ◆本資料に含まれる将来の業績に関する見通しは、日本経済や情報サービス産業の動向、その他本資料作成時点において入手している情報による判断および仮定により、算出しております。従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により変動する可能性があることをご承知おきください。
- ◆本資料の記載内容は、当社の許諾を得ずに複製または転記、転載等を行わないようお願いいたします。

お問い合わせ先

株式会社シーイーシー

コーポレートグループ 事業推進本部 経営戦略室 IR担当

☎ 03-5789-2442

コーポレートグループ 管理本部 財務経理部

☎ 046-252-4111

✉ IR@cec-ltd.co.jp

© Computer Engineering & Consulting Ltd. All rights reserved.

(説明省略)